

【資料②】

地方創生拠点整備交付金事業（平成28、29年度）に係る評価等

基準日：令和3年3月31日

交付対象事業 (担当課等)	事業概要	平成28, 29年度の事業内容	事業費 (円)	重要業績評価指標 (KPI)				評価及び今後の方針
				評価指標	計画時 (H27年)	現状値 (R2年) 5ヶ年累計 (H28～R2)	目標値 (R2年) 5ヶ年累計 (H28～R2)	
一宮版サーフオ ノミクス駅前観 光施設整備事業 (企画課) (産業観光課)	<p>本事業は平成28年度繰越。平成29年度執行事業。</p> <p>一宮町は、2020年東京オリンピックサーフィン競技会場に選定され、年間約60万人が訪れる国内有数のサーフスポットでありながら、その経済効果は海岸エリアに集中し、駅周辺にまで波及していない。その理由は、観光客や都心から移住したサーファー世帯が購入したい店舗が駅前商店街になく、需要と供給がミスマッチな状態である。市街地商店街は空き店舗が増加し、人口や経済においても駅周辺の空洞化が進む。</p> <p>地方創生拠点整備交付金を活用して、JR上総一宮駅前に「観光案内所」・「農産物直売所」・「テナント」を複合施設を建設し、観光案内所ではレンタルサイクル・レンタルサーフボードを行い、サーフィンを主な地域資源に外部から所得をもたらし、地域の稼ぐ力を伸ばすための拠点施設として整備する。</p>	<p>①駅前観光施設の建設に向け、計画、測量、地質調査、設計、施工監理費用を委託。</p> <p>②駅前観光施設を新築する施工費、及び敷地内の既存のプレハブ小屋や自転車置き場の移設費。</p> <p>③レンタルサイクル・サーフボードを行うの為の備品購入</p>	56,014,425	レンタルサイクル・サーフボード新設に伴う観光消費額の増加	136万円	648万円 (+512万円)	1,092万円 (+956万円)	<p>平成28, 29年度に駅前観光施設建設事業を行い、平成30年4月に「観光案内所」「農産物直売所」「テナント」の複合施設「一宮町観光拠点施設」としてオープンしました。この施設は観光案内所でレンタルサイクル・レンタルサーフボードを行っていることもあり、電車であられた観光客に好評を得ています。</p> <p>当初掲げていたKPI目標値に近づきましたが、昨年度は新型コロナウイルス感染拡大や集客を見込んでいた東京2020オリンピックサーフィン競技大会の延期の影響により、全体的に数値が下がりました。計画上では昨年度がKPI目標値の最終年となっていますが、コロナ収束を見込み、集客を増やす工夫をしてKPI目標値達成を目指します。</p>
				観光消費額（一宮町全体）	14億6,300万円	20億68万円 (+5億4,380万円)	24億9,526万円 (+10億3,226万円)	
				駅前観光物産直売所の売上合計	4,485万円	4,450万円 (-35万円)	5,192万円 (+707万円)	

令和2年度地方創生事業に係る評価等（地方創生交付金を活用していない事業）

基準日：令和3年3月31日

第1期総合戦略 該当内容	事業 (担当課等)	事業概要	実施内容	事業費 (円)	重要業績評価指標 (KPI)				評価及び今後の方針
					評価指標	計画時	実績値 (R2)	目標値 (R3)	
一宮町まち・ひと・しごと創生 総合戦略の5つの柱 (1)一宮サーフストリート構想	釣ヶ崎海岸施設 建築事業 (企画課)	オリンピックサーフィン 競技大会開催決定を契機 に、県が釣ヶ崎海岸に整備 した県立自然公園に、シャ ワー・トイレ・多目的室な どを備えた施設を町が整 備。オリンピック開催時は 大会組織委員会が関係者用施 設として使用、大会後には 町がサーファーなどの海岸 利用者向けの施設として供 用する。	令和元年度にtoto助成金 及び千葉県補助金を活用 し、建物本体工事を実 施。オリンピックサー フィン競技大会にも使 用。大会時は電気水道は 仮設で接続する為、大会 終了後に町で電気水道本 設工事を行う。 令和2年度実施予定だっ たが、オリンピック延期 に伴い工事令和3年度 に延期となった。	0	サーファー 客数	585,200人	668,934人	700,000人	本体工事は完成しており、 オリンピック大会にも使用さ れました。今年度町で水道・ 電気等の本設工事を行い、千 葉県では芝生広場及び駐車場 を整備し、オリンピックレガ シーとして令和4年度から一般 供用開始予定。 施設建設場所の釣ヶ崎海岸 はオリンピックサーフィン競 技開催場所であり、今後多く の観光客が見込まれる。この 施設の運営方針や供用開始後 の維持管理が課題となる。
一宮町まち・ひと・しごと創生 総合戦略の5つの柱 (2)都市軸の整備	上総一ノ宮駅東 口開設整備事業 (企画課)	J R上総一ノ宮駅の東口 広場（海側）に、新たな改 札を設置し、オリンピック 開催時の来訪者の玄関口と するとともに、駅の利便性 による通勤・通学、観光客 等、駅利用者の増加と駅周 辺の賑わいの創出を図る。	J R千葉支社と施行協定 締結。千葉県の補助金を 活用し、平成31年4月着 工。令和2年7月開設	323,690,991	J R上総一 ノ宮駅の平 均乗車人員 数	2,945人	2,188人	3,200人	令和2年7月1日よりJ R上総 一ノ宮駅東口として利用開 始。駅利用者の3割が東口を利 用するなど、駅利用者の利便 性が向上している。 上総一ノ宮駅東口は町所有 物となるので、町の負担とな る維持管理費や、利用者が快 適に利用出来るような東口広 場再整備などが課題となる。

第1期総合戦略 該当内容	事業 (担当課等)	事業概要	実施内容	事業費 (円)	重要業績評価指標(KPI)				評価及び今後の方針
					評価指標	計画時	実績値 (R2)	目標値 (R3)	
一宮町まち・ひと・しごと創生 総合戦略の5つの柱 (4)子育て支援と 個性ある教育の 推進	ロボットプログラミング教室開 催事業 (教育課)	令和2年から必修化となる プログラミング教育を平成 28年から先行して小学校 5、6年生対象に実施。	ロボットプログラミング 事業実施	429,000	平成28～ 令和3年度 東浪見小学 校・一宮小 学校5,6年 生児童数	—	1,587人	—	一宮町ではプログラミング 教室は平成28年から行って おり、令和2年から必修化 になるプログラミング教育 より先行して実施しており 、文部科学省の狙いの「 プログラミング的思考を 育むこと」「プログラミング の働きやよさに気付くこ と」「各教科での学びを より確実なものにすること 」が身に付けられます。 令和3年度から中学校では 必修化となるので、小学 校で学んだ内容を中学校 に進級した時に継続して 行えるかが課題。
一宮町まち・ひと・しごと創生 総合戦略の5つの柱 (5)シティープロ モーション	サーフタウンプロ モーション事業 (企画課)	一宮町サーフタウンプロ モーションを行う為に、 「サーフィンと生きる町」 というホームページを 作成し、動画やサーフィン に関連する方々との対談 等を掲載している。	「サーフィンと生きる 町」のホームページ保守 管理	396,000	移住相談の 件数	30件	36件	150件	周辺自治体の人口減少が 続く中、当町の人口が横 ばいで推移している大き な要因となっているサー ファーの移住定住にも寄 与している。 予算の都合もあり、近年 このホームページは更新 をしていない為、もう一 つの移住ホームページを 含め存続等の検討が課題 である。